

# 平成22年度 当初予算の概要

**予算総額** 676億1,004万円 前年度比 2.1%減

**一般会計** 372億9,000万円 前年度比 4.0%増

**特別会計** 279億4,067万円 前年度比 0.8%減

## 特別会計の内訳

特別会計名	当初予算額
国民健康保険	128億6,131万円
老人保健	831万円
介護保険	95億8,467万円
簡易水道事業	1億3,840万円
公共下水道事業	34億9,331万円
小規模下水道事業	6,412万円
港湾上屋事業	565万円
ひうち地域振興整備事業	1億7,801万円
土地開発事業	426万円
小松地域交流事業	2億4,077万円
本谷温泉事業	2,952万円
住宅新築資金等貸付事業	1,731万円
畑地かん水事業	2,711万円
庄内財産区	567万円
壬生川財産区	337万円
後期高齢者医療保険	12億7,888万円

**企業会計** 23億7,937万円 前年度比52.8%減

## 企業会計の内訳

企業会計名	当初予算額
水道事業	14億4,880万円
病院事業	9億3,057万円

平成22年度の地方財政計画によると、歳入のうち、地方交付税や臨時財政対策債の増加は期待できるものの、歳入の根幹をなす市税では、市民税や固定資産税をはじめ、ほとんどの税目で減収となり、市税収入全体では、大幅な減少となった前年度当初予算額をさらに下回る見込みとなっています。

このように、非常に厳しい財政環境ではありますが、財源の確保に努めることはもとより、重要かつ緊急度の高い施策を厳選し、重点的・効率的な財源配分に一層努め

るなど、厳しい状況に対応しつつ「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に取り組んでいく必要があります。

そこで、新年度の予算編成に当たりましては、(仮称)東部一般廃棄物最終処分場の整備推進に要する経費をはじめ、子育て支援、新規産業の創造と産業の振興、雇用対策、病院事業会計に対する財政支援など緊急かつ懸案の施策に、積極的に取り組む予算編成を行っています。

## 一般会計の主な事業

### ▼健康づくり・体育の振興

- 石鎚山系元気ウォーキング大会開催事業 473万円



- 高地運動指導事業 141万円
- 次世代育成支援スポーツ事業 1,024万円

### ▼雇用対策

- ふるさと雇用再生事業 1億9,052万円
- 緊急雇用創出事業 7,979万円
- 就業機会創出事業 65万円

### ▼子育て支援

- 子ども手当支給事業 20億2,175万円
- 乳幼児医療費助成事業 2億4,302万円
- 放課後児童健全育成事業 1億2,263万円
- 放課後子ども教室推進事業 440万円

### ▼福祉の充実

- 福祉基金事業 8,690万円
- 障害児支援員配置事業 1億5,455万円

### ▼保健・医療の充実

- 女性特有のがん検診推進事業 1,022万円
- 特定不妊治療費助成事業 250万円

### ▼環境保全対策

- (仮称)東部一般廃棄物最終処分場整備事業 6億2,333万円



- 地下水資源調査解析事業 3,248万円
- 住宅用太陽光発電システム導入促進事業 1,786万円
- 浄化槽設置整備事業 1億3,509万円